



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 5 号
令和 2 年 5 月 25 日

学校の再開に向けて

校長 古市 直彦

新型コロナウイルスへの脅威が完全におさまったわけではありませんが、学校再開への道が見えてきました。順調に行けば、今週の「任意の分散登校」に続き、6月1日からは「全員の分散登校」、6月8日からは、いよいよ「通常登校」となります。

5月20・21・22日の3日間で行った個別相談日には、前回個別相談日の69.1%より大幅に増えた89.3%の生徒が顔を見せてくれた「学校大好き若中生」ですから、6月8日からの「通常登校」が待ちきれない…という人もいるかもしれません。でも、もう少しのしんぼうです。

ただ、新型コロナウイルス感染の心配がゼロになったわけではありませんし、集まる人数が多くなると「3密」を確保するのが難しい場面も出てくるかもしれません。人間関係がギスギスしてくることも予想されます。



休校期間中、新聞やテレビの報道、SNS上などで、次のような事案も問題になっていました。

- ・保護者の方が東京や大阪など感染拡大地域を行き来する長距離トラック運転手のお子さんが、学校から自宅待機を要請された。
- ・医師や看護師などの医療従事者やその家族が、道を歩いているだけで「お前のせいで感染が広がるだろう！」と言われたり、塾で「コロナ来るな！」と言われたりした。
- ・風邪からくる咳ぜん息にかかり、1～2週間ほど咳が止まらなくなった男性会社員。病院を受診し、薬を飲んだものの咳をしながら仕事をしていると、社長から「周りがうつらないかと心配している」と告げられ、しばらく休むよう指示された。翌週、すっかり回復して会社に行ったら、別部署に異動になっていた。
- ・もともとの体温が高い男性。屋外で作業した直後に検温したら37.4℃あった時にバイキン扱いされた。1週間の出勤停止も指示された。いじめられっ子の気持ちが少し理解できた。



特に、コロナウイルスが拡がり始めた頃に、同じような報道が多くされていたように思います。「おとなのいじめ」のようで、とても残念な思いをしたことを覚えています。

なかなか感染が収束しないことを「誰かのせいにしたい」という気持ちがあったのかもしれませんが、きっと、新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識を持っていない人が多かったために、コロナウイルス自体よりも、コロナウイルスへの恐怖心の方が早く感染してしまったためでしょう。とても残念なことです。

コロナウイルスに関しては、まだ判明していない部分もありますが、本校でも、6月8日に「コロナウイルスとその感染予防」に関する学習を、全学年・全学級で実施する予定です。正しい知識を持つことで、少しでもコロナウイルスやその感染への恐怖心を減らしていきましょう。心ない発言による「ことばウイルス」の感染だけは絶対に防いでいきたいと思っています。

コロナウイルスは、誰もが感染する可能性がある病気です。たとえ、コロナウイルスに感染した人がいたとしても、その人が悪いわけではありません。悪いのはコロナウイルスなのです。どうぞ、ご協力ください。



【資料】新型コロナウイルス感染症とその予防について（※厚生労働省ホームページより抜粋）

新しい情報の資料ではなく、確認的な内容の資料ですが、大切なことなので、掲載をさせていただきます。6月8日にも、似たような資料で学習をする予定です。

■ どうやって感染するの？

現時点では、^{ひまつかんせん}飛沫感染と^{せつしよくかんせん}接触感染の2つが考えられます。

- (1) 飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば など）と一緒にウイルスが
出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。



※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

- (2) 接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接触れなくても感染します。

※感染場所の例：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど



■ 新型コロナウイルスに感染しないようにするためには？

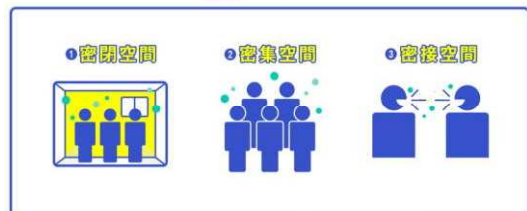
感染経路の中心は飛沫感染と接触感染です。人と人の距離をとること（Social distancing; 社会的距離）、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分に、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりする等で、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の者からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒、咳エチケットの励行などをお願いします。

発熱などのかぜ症状がある場合は、仕事や学校を休んでいただき、外出やイベントなどへの参加は控えてください。休んでいただくことはご本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。そのためには、社会全体における理解が必要です。

3つの「密」を避けましょう



日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

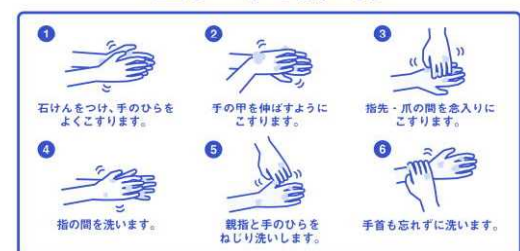
「咳エチケット」のお願い

感染症対策のため、咳エチケットを心がけましょう。

咳による飛沫は2m以上飛ぶこともあります



正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

国内はもとより、世界中で「医師や看護師などの医療従事者に敬意を表し、励ます活動」も繰り広げられています。「敬意を行動で示そう。それはステイホームすることだ。」という内容のテレビCMも印象に残っています。もう少しです。みんなで頑張っていきましょう。

校報「若松中だより 第5号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。

（ 千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125 ）